プラズマ・核融合学会誌

第100巻第5号

2024年5月

解　　説　直線型装置を対象とした非接触プラズマ統合輸送コード開発の現状と展望 …… 田中宏彦　209

講　　座　宇宙天気研究に基づく社会インフラ防護と被害予測

4．航空機被ばく …… 佐藤達彦，久保勇樹　218

5．電波・測位障害 …… 斎藤　享，津川卓也　224

研究論文　日本国民の核融合研究開発に対する税負担意思額 …… 岩本みさ，馬奈木俊介，武田秀太郎　231

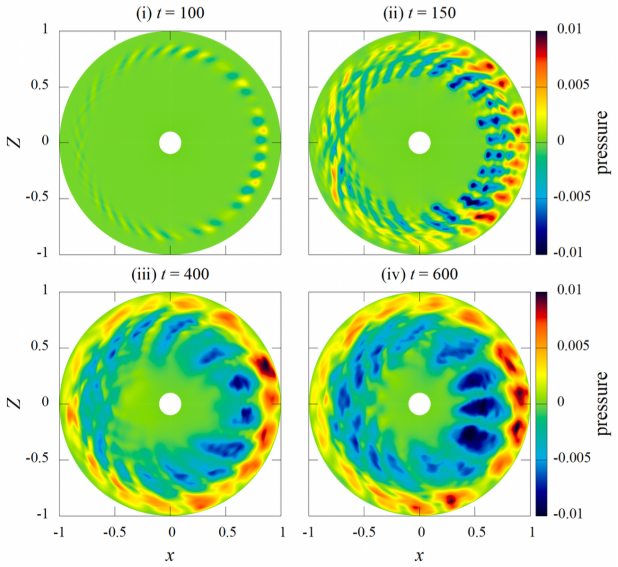
インフォメーション …… 238

ITER だより(105)

本会記事 …… 242

総会提出資料の学会ホームページ掲載・閲覧について

編集後記



表紙の絵
簡約化二流体モデルを用いた抵抗性バルーニングモード乱流のシミュレーションを行った．図はポロイダル断面における圧力揺動の時間発展を示す：(i)バルーニングモードが線形成長し，(ii)乱流状態へ遷移し，(iii)－(iv)二次的な乱流の径方向への広がりが発生する．周辺ポロイダルフローのシアが十分強い場合には，このような乱流の径方向広がりは抑制される．
(Ayumi TAKANO *et al.*, Plasma and Fusion Research, Vol. 19, 1403016 (2024) http://www.jspf.or.jp/)

【複写をされる方へ】本学会は，本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています．本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は，㈳学術著作権協会より許諾を受けてください．但し，企業等法人による社内利用目的複写については，当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター（㈳学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体）と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては，その必要はありません（社外頒布用の複写については許諾が必要です）．
権利委託先：一般社団法人学術著作権協会　〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル2F Tel:(03)3475-5618　E-mail : info@jaacc.jp
複写以外の許諾（著作物の引用，転載，翻訳等）に関しては，㈳学術著作権協会に委託しておりません．直接当学会へお問い合わせください．